

の奨学金制度の創設や学校教育での食育・体験学習等をフルに活用した中で、「目指す職業は農業だ」という環境づくりを関係機関と連携して取り組みたい。

A 関町長

② 営業のポイントは地場産食材を活用した新鮮さ

■ 商工費（歳出）

Q 向井委員

① 「ゆつたりかん」を一時休館して、町直営で運営することとなったが、営業・予約・人員の準備等はどうようになっていくのか。

② 「ゆつたりかん」の運営に対する町長の意気込みを伺う。

A 村井経済課長

① 受託者が3月20日まで営業し、以後町が引き継ぐことになっているが、施設の改修や修繕を考慮すると4月中旬以降の営業開始予定。PRや予約については直営の体制を整えた中で取り組めるものから進め、人員については現従業員の大部分を継



を売り込み、四季折々の食材に応じたメニューを構築したい。直営による赤字の心配もされているが、お客様にまず喜んでもらえる形を提供すると

いう考え方で、1日でも早く正規の営業を行いたい。

Q 藤田委員

「たつぷりかん」（達布）で使用している冷泉運搬ぶ手段（タンク車）があるのであれば、「ゆつたりかん」で利用することを検討できないか。

A 板垣副町長

どの程度の冷泉運搬ができるか、また現有のタンクがどういう状況なのかを調査して、それが実際に可能かどうかを早急に検討し結論を出したい。

Q 岩倉委員

① 「ゆつたりかん」の休業期間中、バスを運行して「たつぷりかん」を利用することはできないか。

② 起業化支援事業について、今6次産業化が推進されている中であって、23年3月31日での事業を終了させることは時代に逆行していると思われる

るが。

A 関町長

① バスの運行体制は整っているので、ぜひ検討したい。

② 3年間という期限を設定して実施してきた事業であるが、農業の6次産業化という時代の中で生産から加工・販売、そして消費ということを考え

ると延長することも大事であり、検討させていた

■ 教育費（歳出）

Q 山内委員

昨年度まで学校プールに関する予算が計上されていたが、本年度は実施しないという考えでよいのか。

A 鈴木管理課長

鬼鹿小学校プールは建設後46年が経過し、老朽化が著しく衛生管理や監視体制面の点検のため1年間休止する。代替措置として小平高等養護学校

のプールを借りて授業を行う予定。

Q 岩倉委員

鬼鹿地区の学校再編に関する新教育長の考えを伺う。

A 横田教育長

鬼鹿中学校については、数年後には複式になることから学校・PTAと協議中で、鬼鹿小学校についても将来に向かつて統合に関するアンケート調査の結果やその内容を保護者に説明する予定

である。再編の問題は重要課題と捉え、最終的な判断には、子供達にとつて最適な教育環境を整備

することが最も重要であり、地域・PTA・教育委員会としての方向性を早急に示したい。

年金・低所得者が入所できるような施設は「愛生園」（特養50床）しかない。

A 関町長

高齢者は町の功労者だという認識は当然持っている。明るく元気な町づくりの一環として高齢者福祉行政を見直すことも必要であり、高齢者が安心して暮らせるよう居宅介護と合わせた中で施設介護の増大を図っていきたい。財源や制度の問題もあるが、議会とも相談して将来を見据えた検討をしていく。

以上、2日間にわたり審議された平成23年度の一般会計及び各特別会計予算は原案のとおり可決されました。

なお、この他にもたくさん議論が展開されましたが、紙面の都合により、質問及び答弁、説明の一部を省略しておりますことをご了承ください。

介護サービス事業

Q 岩倉委員

少子高齢化で高齢者人口は減っていないという状況の中、当町には低

介護サービス事業